

平成26年11月26日発行



社協シンボルマーク

ささえあい

志布志市社会福祉協議会 第53号

共同募金チャリティ グラウンドゴルフ大会開催！



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部により発行されています。



多くの共同募金運動にご協力いただいております



街頭募金を実施しました！

10月1日（水）・2日（木）志布志町6店舗、有明町3店舗のご協力をいただき、街頭募金を実施しました。

市内のボランティア団体や福祉団体、幼稚園、保育園等の100余名の方々に参加していただきました。ご寄付をしていただいた多くの方からの善意に厚くお礼を申し上げます。



食欲の秋チャリティゴルフ大会

11月11日（火）日南串間ゴルフコースにてチャリティゴルフ大会が開催されました。参加総数48名に共同募金の趣旨をご理解いただき、募金等をゴルフというスポーツとおして、ご協力いただきました。ありがとうございます。



若潮新酒まつりへ参加しました！

10月26日（日）志布志市共同募金委員会からイベント募金活動として参加しました。バルーンアートのプレゼントや、ステージでは11月22日（土）に開催される社会福祉大会開催のお知らせをさせていただきました。若潮酒造の皆様をはじめ、関係者の皆様、募金していただいた皆様、本当にありがとうございます！



皆様、募金していただいた皆様、本当にありがとうございます！

伊崎田地区白鳥杯チャリティグラウンドゴルフ大会

11月8日（土）白鳥杯チャリティグラウンドゴルフ大会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、笑い声の絶えない、楽しい大会となりました。

まだまだ元気旺盛な参加者の生きがいの一つとなっているグラウンドゴルフ大会をとおして、共同募金にご協力をいただきました。ありがとうございます。



○ご協力団体及び自治会

中野友優クラブA・B、宝永、菅牟田、鍋、宇尾、檜ヶ原、土江、本村、久木迫、風八重

あんしん・安全ネットワークセミナー開催!

9月26日(金) 志布志市文化会館にて「あんしん・安全ネットワークセミナー」が開催されました。

はじめに「誰でも簡単に楽しめるレクリエーション」として県レクリエーション協会コーディネーター関野陽一氏が首や手足などを動かして簡単に楽しめるレクリエーションを笑いも交えながら指導されました。

その後、「見守りから始まる生活支援のネットワークづくり」をテーマにパネルディスカッションが行われ、3名のパネリストが登壇されました。

志布志町上門自治会の見守り協力員、西坂光子氏は上門自治会の支え合いマップづくりにより上門自治会の実態や課題を把握し、その課題に対する対応策について話されました。



西坂氏が上門自治会での取り組み等を紹介されました(^^)



県内各地から多数の方々が参加され、パネリストの説明、事例紹介等に聴き入っていました(^^)

また、見守り協力員育成講座受講生によるボランティアグループ「カンナ」を立ち上げ、サロンへ行かない一人暮らし高齢者の方々などへ歌の宅配ボランティア活動をされていることなど紹介されました。

大崎町社協ボランティアコアディネーター宮内かおり氏は高齢者サロンの立ち上げ支援、支え合いマップづくりの事例等について話され、また、南大隅町西方自治会、在宅福祉アドバイザー榎木俊昭氏が西方自治会での支え合いマップづくりの事例、お泊まりサロン等について話されました。

以上のような取り組みがますます、各地で広がっていくように今後とも地域住民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

志布志市金婚式

11月5日(水) 志布志市金婚式が国民宿舎ボルベリアダグリにて開催されました。本年は、68組のご夫婦が金婚式を迎えられ、36組71名の方々にご参加をいただきました。



当日は、あゆみ保育園、おおぞら保育園、野神保育園の園児によります太鼓や妖怪ウォッチのお遊戯があり、また、三鐘流洋宗会によります祝儀の舞が披露されました。

ご参加された皆様は、結婚50年の歴史を振り返りながら、思い思いに楽しまれている様子でありました。誠にありがとうございます。



第9回 志布志市福祉作文・絵画コンクール入賞者発表

(敬称略)

豊かな心を育み、福祉育成を目的とした「福祉作文・絵画コンクール」を小・中学生を対象に実施しました。また、11月22日(土)に行われました「第9回志布志市社会福祉大会」にて表彰されました。

福祉作文

小学生低学年の部(1～3年)



福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名	区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	伊崎田小学校	1	八代 煌央	ぼらんていあって、なあに	最優秀賞 (1名)	森山小学校	1	加籠 来愛	おじいちゃんとうしのせわ
優秀賞 (2名)	野神小学校	2	鈴木 音葉	くびながトカゲのおじいちゃん	優秀賞 (2名)	潤ヶ野小学校	1	横峯 瑠	おじいちゃんとかぶとり
	蓬原小学校	3	大野 澄海	ぼくの大きなおじいちゃん		伊崎田小学校	2	野村 北斗	ばあちゃんとかやとり
佳作 (3名)	森山小学校	2	吉田 栞	おじいちゃんとうどんたべ	佳作 (3名)	伊崎田小学校	1	八代 煌央	ぼくとおじいちゃんをとらつく
	原田小学校	3	高松 琴美	夏休みのふくしたいけん		安楽小学校	2	福元 みゆ	わたしのおじいちゃん
	蓬原小学校	3	普現 未理	かおりおばちゃんの夏休み		泰野小学校	1	日高 雄大	おじいちゃんとかぼちゃとり

福祉作文

小学生高学年の部(4～6年)



福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名	区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	有明小学校	6	山床 侑加	事故から学んだこと	最優秀賞 (1名)	蓬原小学校	4	原田 莉己	料理大好きおばあちゃん
優秀賞 (2名)	伊崎田小学校	6	砂田 滯加	いつもありがとう、ばあちゃん	優秀賞 (2名)	尾野見小学校	5	津曲 晶	お花のすきなおばあちゃん
	山重小学校	4	加藤 清龍	おばあちゃんの仕事場		安楽小学校	5	植松 花咲	元気なおばあちゃんといっしょに
佳作 (3名)	松山小学校	4	上田 真慈	わたしの大好きな弟	佳作 (3名)	山重小学校	4	抜迫 愛未琉	グラウンドゴルフ
	尾野見小学校	5	深江 直人	ひいおばあさんの死から学んだこと		安楽小学校	4	岩根 ゆら	元気なおじいちゃんといっしょに
	森山小学校	6	片野 瑠憂花	小さなことから始めよう		志布志小学校	6	山元 理慧	元気な祖父母と私たち

福祉作文

中学生の部



福祉絵画

区分	学校名	学年	氏名	作品名	区分	学校名	学年	氏名	作品名
最優秀賞 (1名)	松山中学校	3	有蘭 莉	「また来やんね」が聞きたくて	最優秀賞 (1名)	宇都中学校	2	篠原 芽衣	おじいちゃんと一緒に
優秀賞 (2名)	志布志中学校	2	井手 優月	笑顔が見たいから	優秀賞 (2名)	宇都中学校	1	原田 直也	小さい子のお世話
	宇都中学校	2	中尾 有里	「大丈夫だよ3組」を読んで		宇都中学校	2	西川 真紀	働いているおじいちゃん
佳作 (2名)	松山中学校	3	森元 裕樹哉	ボランティアを通じて	佳作 (3名)	志布志中学校	2	藤後 朱理	広げよう 福祉の心
	志布志中学校	1	徳永 あゆ	ボランティア		志布志中学校	2	山元 晶子	おばあちゃんと一緒に
						志布志中学校	3	税田 舞	私とおばあちゃん

福祉作文

学 校 賞



福祉絵画

区 分	学校名	区 分	学校名
小学校	伊崎田小学校	小学校	安楽小学校
中学校	松山中学校	中学校	宇都中学校



最優秀賞

小学生低学年の部

志布志市立伊崎田小学校 1年
八代 煌央さん「ぼらんていあつて、
なあに」

「ことは、ぼらんていあ
のひとが百七十にんぐらい
きてくれるよ。」

と、おとうさんが、うれし
そうにはなしてくれました。
おとうさんがはたらいて
いるところでは、まいとし
なつやすみに「ぼらんてい
あまつり」というおまつり
があります。かきごおりや
わたあめがもらえたり、ほ
られんじゃあがでてきたり
します。うきうきするたの
しいおまつりです。いつも、

ぼくとおとうとおかあさ
んの三にんでいつています。
おとうさんのはなしをき
いていたぼくは、

「ぼらんていあつて、なあに。」
と、ききました。すると、
おとうさんが、

「ひとがよろこぶことを、す
すんでやることだよ。なに
もごほうびがなくてもね。」
と、おしえてくれました。

ぼくは、「ぼらんていあつ
て、きびしいな」とおもい
ました。

うんどうかいでがんばつ
たごほうびとか、おてつだ
いをしたごほうびとか、ご
ほうびをもらうことがあり
ます。ぼくは、ごほうびを
もらえると、がんばること
ができます。でも、ぼらん
ていあは、がんばってもご
ほうびをもらえません。ご
ほうびがなくても、ひとが
よろこぶことをすすんでで
きるのは、とてもすごいこ
とだなとおもいました。

いさき田しようがっこう
のぜんいんをあわせたかず
よりおいひとが、ぼらん

ていあまつりのおてつだい
にきていました。すごいひ
とがたくさんで、びつくり
しました。みんな、いっしょ
うけんめいかかりのしごと
をして、とてもかっこよかつ
たです。ちゅうがくせいのお
にいさんやおねえさんも
いました。いさき田ちゅう
がっこうの、しっているお
にいさんもしました。ふあ
ふあくまのかかりでした。
「すつこくあつかった。」
と、いつていました。でも、
にこにこわらつて、きもち
よさそうでした。もしかし
たら、ぼらんていあつて、
きもちいいのかなとおもい
ました。

ぼくも、おにいさんみた
いに、ひとがよろこぶこと
を、すすんでできるように
なりたいです。



最優秀賞

小学生高学年の部

志布志市立有明小学校 6年
山床 侑加さん

「事故から学んだこと」

わたしは、母の運転する
車に乗り、買い物にむかつ
ていた。なんとなく後ろを
ふり返ると車がせまってく
るのが目に入った。

「ばあん。」

すごい音とともに、体がむ
ちのようになつて頭がくら
くらした。わけがわからず
「なんだったんだらう」と
ボーッとしていた。パトカー
や救急車がきた。それでわ
たしは初めて「ああ。事故
にあつたんだ」とさつた。

警察の人に、
「どこか痛いところはありませ
んか。」
と聞かれ、

「頭がボーッとします。」
と言うと、救急車で病院へ
運ばれ、検査を受けた。だが、
頭などにいじょうはなかつ
たので、家に帰った。

夜になって、おふろから
あがつた後、首に電気のは
しるようなものすごい痛み
を感じた。

次の日に病院へいくと、
しつぷと痛み止めの薬をわ
たされた。一週間しつぷと
薬を続けたけれど、歩くだ
けでも首に痛みが走った。
それで又病院に行くと先生
が、

「リハビリをしようか。」
とおっしゃった。わたしは、

「リハビリって、状態がとて
も悪い人がすることじゃな
いの。わたしは、ひどくな
いのに」と思った。

リハビリ室へ行くとス
タッフの人達がリハビリに
来ている人、一人一人に優
しく対応していた。中には
スタッフの人が付きっきり
でするものもあつた。わた
しは「どんな事をするのだ
らう」とどきどきしていた
が、首にまくらのような温
かい物をのせるだけだった
ので、安心した。

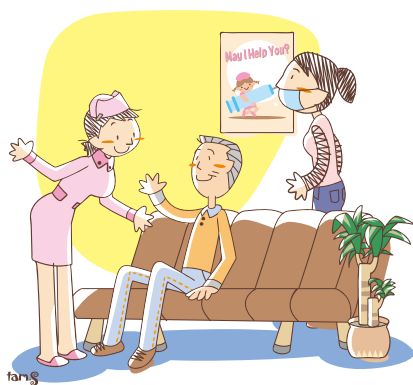
ある日、学校でそのこと

を話すと、
「侑加さん、かわいそう」
と言われた。心配してもら
えてうれしいはずなのに
なぜかわたしは傷ついた。そ
して心の中がもやもやした。

最初わたしは、リハビリ
をしている人を見て「かわ
いそう」と思っていた。だ
けど、学校で「かわいそう」
と言われてから、「かわい
そう」という言葉はちがう
のではないかと思うようにな
ってきた。そして一生けん
命リハビリをしている人
や体の不自由な人に、上か
らあわれむような「かわい
そう」という言葉はとても
失礼なのではないかと思う
ようになった。

わたしは、この「事故」
という特別な体験を通して、
今まで自分がどれだけ体に
めぐまれていたのかという
ことを知った。リハビリに
通いながら、体が思うよう
に動かすことができないこ
とは、どれだけ大変なこと
なのかということを実感し
た。だからわたしはこれか
ら自分の体を大切に
し、体の不自由な人とも
同じ目線や態度で付き合え
るような人になりたいと思

う。そして社会全体がそん
な優しさや思いやりにあふ
れたら、もっと暮らしやす
い社会になるのではないか
と思った。



最優秀賞 中学生の部



布志市立
松山中学校 3年
有蘭 莉さん

「また来やんね。」が 聞きたくて」

「また来やんね」

この言葉を聞くと行か
ずにはいられない。私の大好
きな祖父の家だ。家のす
ぐ隣に暮らしているから行
こうと思えばいつでも行け
る。しかしそう考えていた
のは以前までの私だ。それ
に気付かされたのはつい最
近のことだ。いつでも行け
ると考えていた自分の考え
の甘さを認識することとな
る出来事が起こったのだ。

それは、突然の祖父の入
院だった。前から体調をく
ずし寝込んでいたが、ま
さか入院とは思ってもいな

かった。本心に驚いた。
すぐには面会できないとの
ことで、祖父と会えない日
が続いた。さらに、祖母も
寝泊まりで祖父に付き添っ
ていた。祖母にも会う
ことはできなかった。何日
かたつて面会できたときは、
味わったことのないほど
うれしかった。しかし入院は
続いた。もちろん祖父母の
家はだれもいない。しーん
と音が聞こえるほど静まり
かえていた。

「早く家に帰ってきてほ
しい」。何度もそう思った。そ
れと同時に、今までのいつ
も会えると思っていた自分
の考えの甘さに腹が立った。
そこからはがらりと考えを
変え、自分のできる限りの
ことをして祖父母の帰って
くる日を待った。線香をあ
げに行って仏さんのお花を
代えたり、祖父の着がえを
洗濯したりした。いつ帰っ
てきてもいいように、いつ
帰ってきてても以前と同じよ
うに過ごせるようにと考え
ながら……。

そして、ついに退院の日。
久々に家に帰ってきたのはや
せて弱々しくなった祖父、少
し疲れたように見える祖母

だった。私はなんとかしない
と思いいかにできることを考
えた。まず第一に、「会いに
行く。」「毎日会いに行く。」
と決めた。近ごろが関係な
い。ひまさえあれば祖父母の
家に行った。するとある日、
ある言葉に気が付いた。

「また来やんね。」
祖父母どちらともそう言う
ことに……。前から言っ
たのかもしれない。でも、
今までの私では気づくこと
はできなかった。

帰りぎわに耳を傾けると
必ず言ってくれる。だから
私は笑顔で答える。
「また来やんね。」
この会話が私は大好きだ。
今までは自分の気分次第で
行っていた祖父母の家。何日
も行かない日もあった。そ
のときの祖父母の気持ちを考
えろと心がしめつけられる
ようだ。申し訳ない気持ちで
いっぱいになった。だから私
はいつでも会えるという考
えを捨てた。そして今日も私
は祖父母に会いに行く。

「また来やんね。」
が聞きたくて……。

※作品はすべて原文のまま
掲載しております。

第9回 志布志市福祉絵画コンクール 最優秀賞作品介绍

最優秀賞 小学生低学年の部



「おじいちゃんとうしのせわ」

志布志市立 森山小学校 1年 加籠 来愛 さん

最優秀賞 小学生高学年の部



「料理大好きおばあちゃん」

志布志市立 蓬原小学校 4年 原田 莉己 さん



最優秀賞 中学生の部



「おじいちゃんと一緒に」

志布志市立 宇都中学校 2年 篠原 芽衣 さん

◎この紙面に関するお問い合わせはこちらまで!!

・志布志市社会福祉協議会 志布志本所 ☎ 099-472-1800
有明支所 ☎ 099-474-0310
松山支所 ☎ 099-487-2001



家族介護者交流会

今年度第1回目の家族介護者交流会が9月18日(木)に串間温泉いこいの里にて開催され、7名の方が参加されました。溝口千恵子氏による音楽体操で体をほぐされたり、参加者同士のお話に花が咲いたり、皆さんリフレッシュされているようでした。

介護者の皆さんにとって、今回の交流会が、今後の介護をされていく中の励みになればと思います。

音楽体操



参加者の皆さん



介護の勉強中です



障がい者 戸外ふれあいの二日が 行われました

10月31日(金)に、一人での外出が難しい重度の視覚・上下肢に障がいのある方々と、そのご家族26名で霧島ファクトリーガーデンに行きました。

ファクトリーガーデンでは、焼酎工場を見学され、普段なかなか見られない工場の裏側に皆さん驚かされていました。

帰り際は、「また来年も、お会いしましょう」と皆さん笑顔でおっしゃっており、良い思い出ができたのではないかと思います。

楽しい一日を過ごしました♪



みんなで昼食♪



霧島酒造を見学♪



志布志市社会福祉協議会では一般事務正職員を募集します

■募集人員 1名

■募集資格

高卒以上 29歳未満の方(H26.11.1現在)
社会福祉主事有資格者(取得見込み含む)

■受付期間

11月1日(土)から12月22日(月) 必着

■申込み・問合せ先

〒899-7402 志布志市志布志町志布志322番地1

志布志市社会福祉協議会(本所) TEL 099-472-1800

ホームページ URL <http://www.shibushi-syakyo.jp>

■試験期日 平成27年1月10日(土)

■その他

試験受験申込書は社協本所各支所で取り寄せるか、社協ホームページからも取り寄せることができます。

志布志町

10月29日（水）志布志町のサロンボランティアの方々23名が集い、交流を目的とした研修に参加されました。

有明町ボランティアなかよし会長・副会長のご指導のもと、絵手紙講座を実施し、皆さん熱心に描かれていました。

また出来上がった作品をとおして、会話が弾み交流を深める事ができたようでした。

今回の研修が、今後のサロン活動に繋がれば幸いです。



平成26年度 高齢者ふれあい・いきいきサロンボランティア研修

松山町

松山町高齢者サロン研修会



はいー! 指の運動をしま〜す。

高齢者サロンでできる簡単な体操を講師の渡邊薫氏より学ばれました。

参加者からは、「高齢者が楽しみながら出来る体操で勉強になりました」「歌いながら

手足の運動になるのが覚えやすいので、実践していきたい」との感想がありました。

サロンで大いに活用してもらえたらありがたいです。



狙い定めて! そーれ!

有明町

有明町高齢者サロン研修会

有明町高齢者サロン研修会が10月24日（金）に志布志市民センターで開催されました。

有明町のサロンを楽しいものにしようと、日頃頑張ってくださるボランティアの方がアロマフットマッサージケアを受けました。講師の野村眞由美氏の施術にリラックスして、疲れも吹き飛んだようです。

他にストラップ作りや脳トレ問題にも、答えが出るまでチャレンジしていました。

心身ともにリフレッシュできた一日になり、またサロン活動に向けて元気に活動できそうです。



輪多市のボランティア

輪多市とは

「多くのボランティアの輪を志布志市に広めよう」の意味です。



松波サロンの会

開催場所：若葉団地集会所
開催日時：第1日曜日10時～



開催場所：JA 森山支所跡
開催日時：第2・3金曜日10時～

コーヒータイムin森山

平成26年度から新しく
開催されたサロンです♪

現在、志布志市内では50か所のサロンが開催されています。
今回は、志布志町のサロンを紹介したいと思います♪

ようこそサロンへ！

連絡先…
099-472-1800
サロンコーディネーター 安樂

高齢者サロンに興味がある方、開催してみたい方は、ぜひ志布志市社会福祉協議会までご連絡ください♪



開催場所：四浦地域ふれあいセンター
開催日時：第3水曜日10時～

四浦ふれあいサロン



開催場所：南風交遊館
開催日時：第4月曜日10時～

アチャちゃんサロン 稚子松



福祉体験学習が、9月10日（水）蓬原小学校で、20日（土）に蓬原サター広場で実施されました。
蓬原小学校では、手話体験学習を保護者の方も参加され、初めてでも分かりやすいと好評でした。
おしまいに「サザエさん」を手話で楽しく歌いました。
サター広場では、高齢者疑似体験、車いす体験があり、親子一緒に参加もありました。
手足の不自由な感覚、視界の悪さ等を体験したことで、「高齢者の気持ち」が今まで分かっていたいなかった。これからは接し方を考えようと思う」という感想を聞くことができました。

福祉体験学習を実施しました



車いす体験



高齢者疑似体験



手話体験

朝倉市社協・地区社協連絡会視察研修 志布志市社協へようこそ！

10月31日（金）市健康ふれあいプラザにおいて、朝倉市社会福祉協議会、朝倉市地区社会福祉協議会、朝倉市地区社会福祉協議会連絡会（福岡県）が志布志市社協へ視察研修に来られました。

はじめに、志布志市社協から「志布志市社協の概要と事業説明」、「地区社協との連携」、「見守り活動」について説明を行いました。その後、有明町山重地区社協菅野会長が、山重地区社協の取り組み（ふれあいサロン、見守り活動、ふくしのつどい、一人金婚式、緊急回転灯など）について写真を交えながら紹介をされました。

説明後、関係者との連携や情報共有の仕方、工夫している点、改善したい点など意見交換が活発に行われました。
今後それぞれの地域福祉向上のため、引き続き、交流を図れたらと考えます。



今後に繋がる意見交換が行われました(^o^)

市民編集員が行く!



取材 市民編集員

つのだ 角田 礼子・福留 美鈴

10月17日(金) 田之浦小学校において福祉体験学習が行われました。今回の体験は4・5年生の道徳の授業の一環として行われ、3名の児童が参加しました。田之浦小学校は全校児童6名という小規模校です。他者との関わりが少ない分、このような体験をとおして思いやりや共感力を養おうという先生方の思いから今回の体験学習が実現しました。社協の職員2名の指導のもと、車椅子体験と高齢者疑似体験を行いました。まず、車椅子体験では、実際に車椅子に触るのは初めてという3名は興味津々の様子で説明に耳を傾けていました。先生方や社協職員とペアを組み学校の周囲を移動しました。普段当たり前に行っている通路も車椅子で通ると段差や障害物が多く悪戦苦闘といった感じ



でした。高齢者疑似体験では珍しい装具に初めは大はしゃぎの3名でしたが、装着していくうちに従って思うように体が動かなくなると真剣な表情になり、やっとの思いで歩いていた。最後の体験の感想では、「車椅子で困っている人がいたら声を掛けようと思う」「お年寄りの手伝いをしようと思う」など、体験をとおして皆さんの気付きがあったようです。今回私は市民編集員と保護者の立場で学習に立ち会わせていただきましたが、言葉で教えるよりも体験に勝るものはないと改めて思いました。皆さんのお子さんが通う小学校でも福祉体験学習をされてみてはいかがでしょうか。(角田礼子)

連絡先... 099-4721800

ともだち!

モトム。
アナタのつながり。
ミンナの輪。



このコーナーは人のつながりによって成りたつていきます。

赤十字奉仕団 ふれあい健康安全教室を 開催しました♪



非常食炊き出し訓練中♪

日本赤十字奉仕団を対象とした研修会を、10月27日(月) 志布志町、10月30日(木) 有明町にて開催しました。

日赤鹿児島県支部から講師を

お招きし、災害時を想定した非常食炊き出し訓練や救急救命法・止血法等を学びました。この研修会が参加者の今後の活動に役立てていただければ幸いです。



AEDの使い方を学んでいます♪

